

# 患者の皆様へ

2020年7月31日  
腫瘍内科

現在、腫瘍内科では、「我が国のGIST治療におけるイマチニブ使用の実態」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**1. 研究課題名** 「我が国のGIST治療におけるイマチニブ使用の実態に関する研究」

**2. 研究の意義・目的** 「がん診療連携拠点病院におけるイマチニブ使用を中心としたGISTの診療実態を明らかにする」

## 3. 研究の方法

本研究は国立がん研究センター及びがん診療連携拠点病院等との共同研究です。2012年～2014年の院内がん登録に登録されたGIST（消化管間質腫瘍）患者さんのデータと2018年までのDPCデータから各種治療（イマチニブ、スニチニブ、手術）に関するデータを抽出し、匿名化したデータを国立がん研究センターにおいて集約し、各医療機関におけるGISTの診療実態（イマチニブの完遂率、スニチニブへの変更率、術後補助療法の施行率など）を分析、検証します。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究では匿名化された情報のみを収集及び分析します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しません。院内がん登録及びDPCデータは、提供の段階で個人に対して匿名化番号を割り付け、この匿名化番号によって処理されます。対応表は千葉大学医学部附属病院企画情報部の鍵のかかる保管庫で保管します。

## 5. 外部への試料・情報の提供

国立がん研究センターの定めた方式に従ってデータの転送を行っています。国立がん研究センター提供のソフトウェアで暗号化し、通信経路も暗号化した経路で伝送しています。

## 6. 研究組織

研究責任者：国立がん研究センター中央病院 西田 俊朗

本院における実施責任者：臨床腫瘍部 滝口裕一

## 7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院 代表043 (222) 7171

腫瘍内科 滝口 裕一 内線7967

企画情報部 穂積 浩美・貝塚 伴子 内線6477

**研究代表機関** : 国立がん研究センター中央病院

**研究代表者** : 西田 俊朗